

令和4年度新中学校1年生保護者説明会開催結果概要

日 時 令和4年1月20日（木）午後7時00分～8時00分
場 所 結とぴあ 多目的ホール
出席者 新開成中学校区保護者 6名、各小中学校長、教頭、教職員
教育長、教育委員会事務局長、教育総務課長、学校教育審議監
教育総務課職員3名

顛 末

- ①教育長あいさつ
- ②中学校再編についての説明（資料に基づき説明）
- ③参加者からの事前質問への説明

市教委 通学方法等について、上庄中学校区の生徒はスクールバスに乘車し、登校と下校をしていただくということを考えている。ただ、実際のルートや乗車場所、乗車時間などについては、再編の準備委員会で、まず教育委員会としての案を示し、いろいろなご意見をいただいた上で、最終的に決定をさせていただきたいと考えている。

体操服などの学用品については、保護者の負担を軽減するための補助という観点で申し上げたいと思うが、平成16年4月に策定された小中学校再編計画に基づいて実施された再編の中では、中学校の再編は経験をしていない。小学校の再編しか経験がないという状況である。小学校の再編のケースで申し上げますと、再編した年に2年生になる児童と6年生になる児童の分の体操服やズックなどについては、全額補助をさせていただいている。3～5年生になる児童の分は、半額補助という形である。1年生は入学する際、体操服などは新たに必要になるということで、1年生は補助の対象としていない。なぜ2年生と6年生が全額で3～5年生が半額なのかというと、2年生は再編する前の学校の体操服などを1年しか着用していないということである。逆に6年生は再編した後の学校の体操服などを1年しか着用していないということである。基本的に1年しか使っていないことになるので、全額補助となっている。3～5年生については、少なくとも2年以上は使用することになるので、半額補助となっている。このような形で、これまで再編があった小学校の保護者の方に補助をさせていただいた。

今回、この小学校の例を中学校に当てはめるとなると、1年生は補助対象外ということになるが、再編する年に2、3年生になる生徒分は、両方とも全額補助するという考え方になると思う。2年生は、再編する前の学校の体操服等を、1年しか着用していないこと、逆に3年生になる生徒は、新しい学校で1年しか着用しないということである。全額補助するという考え方になると考えてい

る。この辺についても、再編準備委員会でお示しをさせていただきたいと考えている。

市教委 制服や体操服について、揃えたらどうか、新しい物にしたらどうかというような質問やご意見があった。これについては、教育委員会がこうしなさいというものではなく、基本的には学校が決めることになると思っている。もちろん学校長や教頭だけで判断するのではなく、保護者の方も交えて、PTAで協議しながら決めていくことになると考えている。それを基本として、例えば準備委員会で、大野市全体で揃えてみたらどうだろうかという意見が出れば、また考えていくことになると思う。

クラス替えについてのご質問をいただいた。先ほどの基本的な考え方の中の新生という考えに基づき、新しい学級で新しい仲間と新しい絆作りを行っていきたくて考えているので、3年生でクラス替えを行う。これは、中学校の校長会と教育委員会で協議をし、やっていこうとなっているところである。

3年生で再編するので、受験は大丈夫なのかという意見があった。本当に心配されることかと思うが、来年度から5つの中学校が合同で、教科担任がカリキュラムの編成や教材の選択、評価の方法などを協議して、再編された3年生のときに、学習の遅れや未履修がないようにしていく。しっかりと足並みを揃えて学習していく。これは、校長会との協議の中で、来年度から進めていくことになっているので、安心していただきたい。

友人関係や新たな環境の変化になることが心配だという声もあった。しかし、今の子どもたちは、部活動や習い事、スポーツ少年団などで交友関係が校内に留まらず、幅広い関係を持っている。大人が心配するよりも、子どもたちはすぐに仲良くなるし、環境にも慣れると思う。ぜひそういう目で見てやっていただけたらと思う。

入学時から再編先への入学は可能かというご質問もあった。来年1年生になるときに、2年後には再編されるからというお考えだと思う。これも先ほどの基本的な考え方の中でお示しさせていただいたが、令和5年度末の2年生の終わりまで、自分の学校の歴史や伝統、文化を大切にしてほしいということを優先したいと思っている。最後に自分の学校に対して、愛着と誇りを持って、しっかりと学校を閉じれるような子どもたちであって欲しいと思う。我々もその点について、しっかりと応援していきたいと考えている。

④質疑応答

参加者 3年生になったらクラス替えをして、上庄の生徒が数名ずつ各クラスの中へ入っていくような形になると思う。そういう環境が変わっていく中で、上庄からの先生を、開成へ数名配置されると思うが、気心の知れた先生がいるというだけでも随分生徒は安心できると思うので、そういったところをご意向を

いただきたいと思う。

この資料にいろいろな質問や意見が書いてあった。まだ確定して決まっていることはほとんどないと思うが、準備委員会や部会というものを作って話をしていくということで、どれくらいのことまでを部会や地区で決めることができるのかというところが少し分からないので、教えていただくとありがたい。

市教委 人数はその時の状況によって変わるので今は言えないが、子どもたちが、安心して学校生活を送ることができるように、上庄中学校の教員を何名か開成中学校へ異動させて、安心できるようにしていきたいと思う。

現在、乾側小学校が下庄小学校と先行再編されたが、教員1人と教頭が異動している。乾側小学校から下庄小学校に異動した教員に聞くと、現在担任をしている学年以外の子どもも、声を掛けてくれるのだという声も聞いている。ぜひそういう形でさせていただきたいと思う。

準備委員会は、新しい開成中学校区と陽明中学校区ごとで、大きく作る。その中で、統合式典などを実施するような総務的な部会や、学校生活を整えていく学校運営部会、それから通学など、いくつかの部会をつくり、議論をしていく。そういう中でも、上庄中学校の方で話を詰めて提案してもらわないといけないこともあると思う。それぞれのPTAでも、しっかり議論してもらうようなことも必要かと思っている。

どこまで部会で決めるのか、準備委員会で決めるのかということだが、例えばバスだと、細かいルートで運行してほしいので、5台ほしいということになっても、その台数については教育委員会や市でしっかり議論していかないといけないと思う。どこまでということは、今の時点では言えないが、準備委員会が始まると、いくつも課題が出てくるので、それをどう解決していくかについては、教育委員会や保護者の方、学校としっかり詰めながら、良い方法を考えられたらと思っている。

参加者 再編したときに、何クラスくらいになる予定か。

市教委 各学年とも基本的に4クラスである。中学校の場合には、全教科の専門的な免許を持った教員を配置するということが基本なので、そのようなことが可能な規模ということで、この2校になっている。今、開成中学校でも、家庭科の教員がおらず、当然、県の教育委員会の許可を得た上で、他の教科の教員が教えている。上庄中学校や尚徳中学校、和泉中学校ではそういうことが多々ある。それを解消して、全員に専門的な教科の教員の指導ができるようにと思っている。

参加者 3年生になるときに、修学旅行に行くと思うが、そういうものの積立金などは、どうなるのか。

市教委 準備委員会の中に、学校運営部会がある。その中で、修学旅行についても、

再編になった3年生のときに行った方が、きっとみんなも仲良くなって、環境に慣れるのではないかという議論もあると思う。そうすると、積み立てはどうするのかや、他にも保護者の方に負担していただくような教材についても、3年生まで見据えて、買っていこうといったようなことも含めて、いろいろ話し合っていくことになると思う。

そういった声を届けていただければ、各学校が考え、すり合わせをして、準備委員会で諮っていくということになる。いただいたご意見を、我々も一緒に考えていきたいと思うので、よろしくお願ひしたい。

参加者 上庄中学校と開成中学校に何の部活動があるのか知りたい。

開成中教頭 開成中学校は、陸上部と野球部、サッカー部、女子のソフトテニス部、男子のバスケットボール部、男子も女子も入れるバレーボール部、卓球部、吹奏楽部、創造部である。

上庄中教頭 上庄中学校は、野球部、男子バレー部、女子バスケ部、吹奏楽部の合計4つの部活動がある。

参加者 他の学校と一緒に練習しているということは、実際あるのか。

市教委 部活動についても、基本は上庄中学校なら上庄中学校で、1年生の時に入っている部活動をしっかりやっていく考えでいる。今おっしゃるような開成中学校へ行ったときに、野球部は一緒になるのだから、合同チームで出ようというのではなくて、最後までその学校の部活で頑張るのだということを、校長も考えているし、我々も基本的な考え方で持っている。

ただ、3年生になったときに、一緒のチームになるので、子どもたちが安心して一緒の部活ができるよう部活動の事前交流を大切にしていきたいと考えている。

上庄中教頭 現在一緒に大会に出ているという部があり、上庄中学校と尚徳中学校の野球部が合同チームの申請をして、大会に出ている。それから、上庄中学校の男子バレー部と、開成中学校の男女バレー部の中の男子生徒2名が、事前の交流という形で一緒に練習して、合同チームとして大会に出場している。昨年末、全国大会に出場している。上庄開成チームというチーム名になっている。

参加者 子どもは、再編についてはぼんやりとしか思っていないみたいだが、新たな友達ができることは楽しみにしているような印象を受けている。

部活について気になったのが、部活動でもジャージや冬用の分厚い服など、そういったものを一式揃えるのに、1年生の時にまとまった支払いがあった。先ほど体操服の説明はあったが、例えば3年生から改めてバスケ部に入りたいとなったときに、部活動に関する用品の購入費用の補助も、ご検討いただけたらきっと助かるのではないかと思った。

もう1点気になったのが、登校時はみんな揃ってスクールバスに乗車すると

思うが、下校の時間は、部活や生徒会の活動などで、個人差が出てくると思っている。また、部活動の活動場所もすべて開成中学校ではなく、結とびあで行う場合もある。そういったときに、バスで帰るのか、または保護者が迎えに来るまでどこかで待機する場を設けるのかといったことも、準備委員会でご検討いただきたい内容だと思った。

市教委 平日は、上庄中学校区の生徒は、基本的にスクールバスで登校する。帰りも同じように、スクールバスで下校することになると思う。上庄中学校の運動部の部活動は、上庄中学校内で十分活動できる数になっているが、開成中学校の場合には数が多いので、校舎や体育館、グラウンドだけでは活動できず、社会体育施設を借りて活動している。そこまで迎えに来るのか、どこかに集合して一緒に乗っていくのかという部分については、これから検討していく必要があると思う。ただ、上庄中学校の生徒は、基本は行きも帰りも、スクールバスで登下校をするというような形になる。

参加者 修学旅行の積み立てについて思い出したが、私の子が来年修学旅行の年だが、開成中学校は現時点で積み立ては行っておらず、入学説明会の時にこれくらいの金額が必要なので、皆さんそれぞれ考えておいてくださいという感じであった。

市教委 上庄中学校は、積立しているので、その違いを揃えていくというのは、来年度からすぐに協議して、準備していかななくてはいけないのだろうと思う。再編自体は令和6年度になるが、令和4年度からその準備が本当にたくさんあるのだということ、我々も感じている。今おっしゃるようなご意見を聞きながら、進めていきたい。

⑤閉会のあいさつ（事務局長）